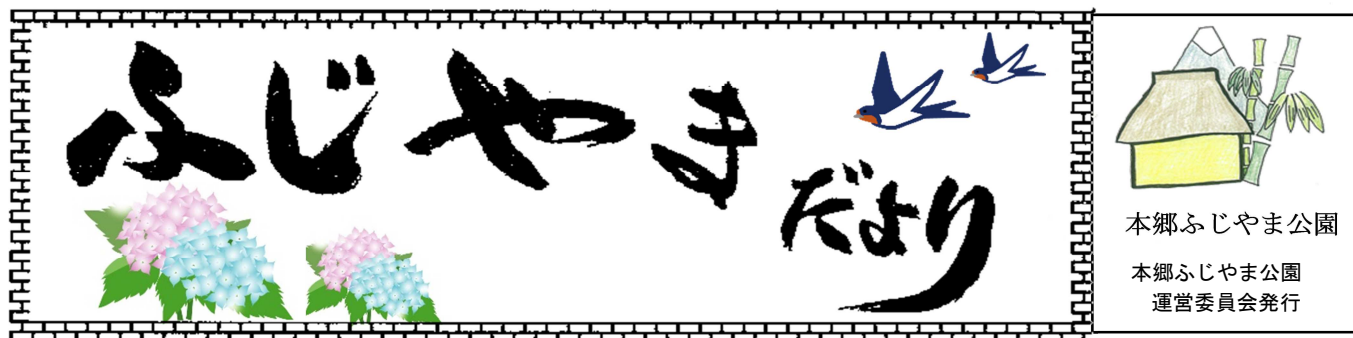




☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

年に1度のめぐりあい・・・そしてわんこそーめん流し

夏の風物詩のひとつ、ふじやま公園の七夕飾りが7月1日(火)～7日(月)まで開催されます。古民家縁側で大きく天を仰ぐ笹竹に掲げた願いはきっと届くことでしょう。

織姫星と牽牛の二つの星が、天の川をはさんで最も光輝く旧暦7月7日を一年に一度のめぐりあう日であるこの日、古民家縁側にも、色紙で夏の風物詩をかたどったさまざまな飾りや、短冊などが飾られます。飾りにはそれぞれ意味があり、「巾着」はお金が貯まるように、「吹き流し」は機織りの上達、「千羽鶴」は家族の健康、「短冊」は願い事が叶い、字が上手くなるようにという願いだそうです。その他にも、「棚機(たなばた)」と書き、はた織りや裁縫が上達するようにとお祈りする風習や芸事、書道の上達も願ったと言われています。みんなで短冊に願いを書いて飾りませんか。



また、恒例の「わんこそーめん流し」は、大きな青竹の波にゆられながら流れるわんこそーめんを楽しむことができます。小さなお子さんには、やさい、さかな釣りゲームもあります。

<わんこそーめん流し>

7月6日(日) 11時～12時 古民家前庭 雨天中止
食券200円(10時半から販売) 定員150名

*お持ち帰り用の笹竹と短冊を用意しています。



6月も半ばを迎えると、ウメの実が丸々と太ってくる。この公園にはウメをはじめ、カキ、ユズ、カリン、マユミ、サンザシ、ナツメ、クリからドングリ類…と実のなる木には事欠かない。公園が利用しているのはウメとカキで、それもカキは干し柿にする様子が古民家の雰囲気作りに使われているくらいで、実用的に利用されているのは100キロも収穫され、梅干になるウメだけだ。今年は例年になく豊作だと言うから、きっと味もいいことだろう。イベントでの販売が楽しみだ。

グリーンサポーター活動、今年も



緑地の持続的かつ適切な管理のためにおこなっている栄区のグリーンサポーター活動の一環として、今年も5月28日、栄区に本社を置く人工宝石のトップメーカーである(株)信光社の新入社員、グループリーダーなどのみなさん20人が作業を行いました。当日はホトトギスがさえずる中、女性2人も大奮闘、竹を間引くために切り倒し、1mくらいに切りそろえるなど、慣れない作業でしたが、自然の中での作業は楽しく、いい汗をかいたとのことでした。来年もよろしく。

部会見てある記 ～農芸部会～

朝10時、新緑のなか小鳥のさえずりを聞きながら総勢20名、ウォーミングアップを兼ねたラジオ体操から農芸部の活動は始まります。農芸部活動の集大成は11月に催される収穫祭。サト



イモやサツマイモ、夏野菜の植え付け、またネギの定植等々で5月～6月は一年中で最も忙しい

時期です。シニア大学で技術を習得した人、畑を所有しているベテランさん、農業経験が全くない人。みんなで知恵を出しあい作業が行われていきます。平均年齢70代半ば?登録部会員は23名と最も多く作業は毎週、月曜日と木曜日にあります。参加する意義はそれぞれと思いますが、作業の雰囲気は大家族のように和気あいあいとしていました。“元気で力持ち”の部会員が多いことから公園のあらゆる行事に引っ張りだこ、それが若さと健康の源になっているようです。これから夏に向け除草と水やり、そして鈴虫の育成にも頑張る農芸部会員でした。

『いろうり辺雑記』から(原文のまま)



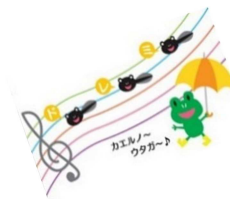
- ・たのしかった。えんがわがきもちよかった。(市内 10代 お仲間と)
- ・タイムスリップした気分で見学させていただきました。昔の祖父母の家を思い出し、とても懐かしく気持ちよくすごさせていただきました。古いものを後世に残し伝えていくことは、とても大変ですが、大切なことだと思います。色々とメンテナンス等大変と思いますが、頑張ってください。(市内 10歳以下 30代 家族で)
- ・いろいろなへやが分かってよかったです。へやの名前も分かってすごかったです。かぶとや人形もみるのができてよかったです。(4年生)
- ・ビデオカメラがあって、たいこもあっておもしろいしすごかった。(1年生)
- ・カブトがあってすごかった(1年生)

ふじやまで田植え 日光浴をするオタマジャクシの姿が

新緑が目にもまぶしく感じられるようになった5月の半ば、長屋門外のお茶畑のわきに作られた田んぼで田植えが行われました。といってもこの田んぼは、プラスチックケースに荒木田土を入れて水を張った簡易なもの。この日ササニシキの植え付けを手伝ってくれたのは、ちょうど公園に遊びに来ていた親子連れで、初めての田植え体験の感想は“とっても楽しかった”とにっこり。



ふと隣の田んぼに目をやると、どこからか舞ってきた葉っぱの上にオタマジャクシの姿が。水辺もないふじやまでどう冬を過ごして、どこで孵化したのか、スタッフの間ではちょっとしたミステリーと評判になっています。それにしても、もう手足も生え日光浴をしているオタマジャクシはとっても気持ちよさそう。日頃から五線譜の上を自由に泳ぎ回っているオタマジャクシだけに、葉(ファ)の上には気持ちのいい空(ソラ)があることを本能的に知っているのかもしれませんが。



ふじやま公園の植物

ハコネウツギ スイカズラ科

日本固有種。特に関東から東海地方の海沿いに自生するも日本各地に分布する。高さ3～5mになる落葉低木。花期は5～6月、花ははじめ白く後に紅色に変化するため枝に紅白の花が混じる。花は筒の途中で膨らみ釣鐘形で5分裂する。葉は対生して楕円形、先端は尖り表面にやや光沢がある。庭木としても植えるが防風用として広く植栽される。名に相違して箱根には自生が少ない。他にニシキウツギがあるが見分けが難しい。種子は秋に散布される。公園では元大橋口から梅林を横目にカーブ途中に植栽あり。



26年7月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	4日(金)	古民家歴史部会 部会	13日(日)
農芸部会 部会	17日(木)	古文書解読勉強会	休みます
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	2日(水)
里山部会 作業	12日(土) 19日(土) 27日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
工作棟部会 部会	9日(水)	クリーンアップ	1日(火) 15日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	9日(水)
ホームページ制作打合せ	27日(日)	印刷	12日(土)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

楽しい教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作	7月20日(日) 10時～12時 " 13時～15時	ペットボトルで窓飾りを作ります (親子、小学生対象)	無料	受付 各終了1時間 前まで:各10名
初心者茶道 体験教室	8月23日(土)13時～16時	日本の「おもてなしの心」を体験 してみませんか 持参:白いソックス	500円	7月31日(木) 抽選 10名

(1)応募要領:往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品:返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

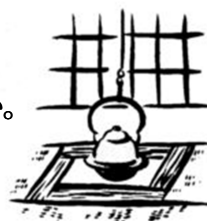
★ いろり端むかし話の会

いろりの火を囲んで、神奈川や日本の昔話を楽しんでみませんか。

日 時: 7月17日(木) 10時30分～11時30分

場 所: 古民家主屋いろり端

定 員: 15名 当日先着順



★ 七夕飾り

短冊を準備しました。皆さんの星への願いを書いて飾って下さい。

日 時: 7月1日(火)～7日(月)

場 所: 古民家主屋縁側

★ わんこそめん流し

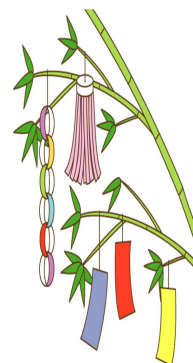
日 時: 7月6日(日)11時～12時 雨天中止

場 所: 古民家前庭

定 員: 150名

食 券: 200円、販売は10時30分から

*お持ち帰り用の小笹と短冊を用意しました。お子さん向けのゲームもあります。



★ 工作棟の改装工事を行います

開園以来、体験教室にご参加戴きありがとうございます。

長年ご不便をおかけしましたが、この度冷暖房設備を設置することになりました。

次の期間、工作棟の改装工事を行いますので体験教室を休講します。安全には十分注意しますが、来園の皆さんもお気をつけ下さい。

これまで工作棟にありました竹トンボ、コマ、竹馬などの置き場は長屋門納屋にかわります。

工事期間: 7月10日～8月31日 教室は9月から再開します。



★ 5月ふじやま公園来園者数 3,172名 26年度累計 6,055名

- ・開 館 時 間: 9時～17時
- ・入 館 料: 無 料
- ・休 館 日: 7月2日(水) 毎月第1水曜日
- ・ク リ ー ン ア ッ プ: 7月1日(火) 15日(火)10時～11時 一斉清掃

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL: 045-896-0590

FAX: 045-896-0593